

AIM/Enduseモデルを活用したエネルギー需要予測

【背景】

半導体工場立地やデータセンターの集積、再エネ導入拡大など不確実性が高まる将来のエネルギー需要について費用最小化の観点から将来のエネルギー需給構造を推計する。

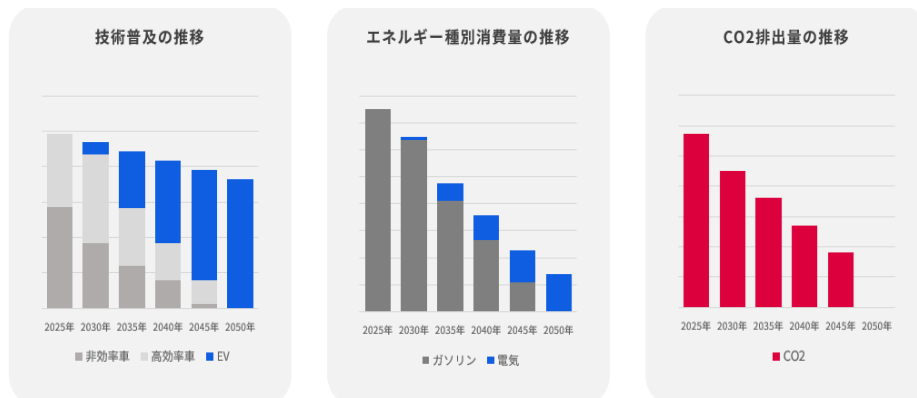
【取り組み概要・成果】 研究期間：2024年度～継続

- 社会経済指標や最新の技術普及動向を基に、費用最小化の観点から将来のエネルギー消費量や温室効果ガス排出量を予測。
- 炭素税や補助金等の制約条件を設定し、カーボンニュートラル達成に向けた最適なエネルギー供給構成や排出削減効果を算出。

AIM/Enduseモデルの概要



シナリオシミュレーション



【期待される効果】

長期需要想定、電源計画、感度分析